

教科テーマ

生徒が「おもしろい！」と思える授業づくり

～「最適解」を求める思考判断のプロセスとは～

保健体育科のねらいは、「心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てること」です。これを受け、本校保健体育科で育てたい生徒像を「運動を愛好し、健康な体づくりに取り組む生徒」とし、教科テーマを「生徒が『おもしろい!』と思える授業づくり」としました。生徒が「楽しい」「もっとやってみたい」「またやってみよう」と思える授業を展開することが、将来的に自らスポーツをおこなう態度を養うことにつながるであろうと仮定しました。そのため、生徒が個人の能力(技能や知識など)を把握し、自ら学習課題や計画を立て、自己の成長を感じられるような授業過程をおこなうことが重要であると考え、サブテーマを「『最適解』を求める思考判断のプロセスとは」と設定しました。「最適解」を生徒自身が発見するためには、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに技能や態度を高め、運動の楽しさや喜びを味わわせることが重要です。そのために、協働学習をおこない、視聴覚機器を積極的に活用していきたいと考えています。

今回取り上げる器械運動は、個人の運動技能を最大限発揮するところに特徴がある克服的スポーツですが、授業の中で、「技能(できる)」「知識、思考・判断(わかる)」「態度(かかわる)」がバランスよく結びつくことで、活動と喜び(達成感)との往復を繰り返し、学習内容の定着を確実におこなえるものと考えます。また、自身では確認できない運動中の自己の動きを確認するためにも「かかわる」は大変重要になります。これこそが本校の目指す「主体性を高める授業過程」につながると確信しています。

《共同研究者》

静岡大学教育学部
教授 岡端 隆
講師 山崎 朱音

《助言者》

静西教育事務所地域支援課
指導主事 根木 信広

《研究協力委員》

掛川市立城東中学校教諭 岡本 健志
焼津市立焼津中学校教諭 高橋 鈴
藤枝市立青島北小学校教諭 岡本 慎也

《島田市教科等指導員》

島田市立六合中学校教諭 加瀬澤尚子
島田市立初倉南小学校教諭 井鍋佐紀乃



※写真は、跳び箱運動のものです

8:30 9:00 9:40 10:00 10:50 11:10 12:00 13:00 14:00 14:15 16:00

受付	全体会	移動	教科協議会 I	休憩	公開授業	休憩 着替え 昼食	教科協議会 II	休憩	ワークショップ
----	-----	----	---------	----	------	-----------------	----------	----	---------

【教科協議会 I】

- ・授業概要説明
- ・公立中学校 実践発表

【教科協議会 II】

- ・公開授業についての研究協議
- 参加者全員で今後の保健体育教育を考える場にしたと考えています。

【公開授業】

- 器械運動(マット運動)
「マット運動の本質に迫れ！」
1年A組(体育館)
- マット運動の本質を捉え、生徒が自己の目標達成のために協働学習で活動する姿をご覧ください。

【ワークショップ】

- 明日から使える！
マット運動のポイント～運動学の視点から～
静岡大学教育学部教授 岡端 隆先生
運動学をベースに動きの仕組みや理論をわかりやすく解説していただきます。ぜひ、ご参加いただき、生徒の「わかった！」を実際にご自身が体験してみませんか？

【お願い】 午後のワークショップにご参加いただける先生は、**運動のできる服装・体育館シューズ**をお持ちください。

申し込みは別紙参加申込書または本校HPよりお願いします。HPアドレス <http://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shimachu/>